

# キーパターン型取りの方法



型取りには、パテをご使用ください。  
紙刷りや写真では正しく判別ができない為、  
お勧めしていません。

**注) 油・紙粘土は避けてください。**

## 【用意するもの】

- 速乾性のある木工用粘土パテ(エポキシパテ)  
※ここでは、セメダイン社のエポキシパテ木部用(HC-118)を使用しています。
- ペットボトルのキャップ  
※製品が貫通タイプの場合は、厚紙で作った筒や  
それに代わるもの。
- CRC-556等の油状スプレー

## 【型取りの仕方 一袋ナット編一】

### <Step1> 準備

- 適量のパテを取り、よく練ります。  
(練る事によって化学変化を起こし、きちんと固まるものになります。)
- ペットボトルのキャップにのせます。  
(キャップの背面であっても内側でも可。)

### <Step2> 型取り

- ナット表面にCRC-556を軽く吹き付けます。  
(吹き付けることで、型抜きが楽にできます。)
- パテのついたペットボトルキャップをナットに対して垂直にグッと押し当てます。
- 2~3秒後にペットボトルキャップを抜きます。  
※ パテは速乾性であってもすぐには乾燥しないので、軟らかい内はやり直せます。

### <Step3> 仕上げ

- パテを完全に乾かしてください。
- 送る際は、パターン部分に変形しないように緩衝材等くるんで、お送りください。



## 【型取りの仕方 一貫通ナット編一】

(適量:参考例)



### <Step1> 準備

- 適量のパテを取り、よく練ります。
- 貫通タイプはスタッドボルトが飛び出しているので、  
厚紙等で筒状にしたものを用意し、そこにパテを埋め込みます。  
※筒の長さと同じだけのパテが適量です。

### <Step2> 型取り

- ナット表面にCRC-556を軽く吹き付けます。
- パテを埋めた筒をナットに対して垂直に押し当て、上部からはみ出るパテも  
押し込みます。
- 2~3秒後に筒を抜きます。

### <Step3> 仕上げ

- パテを完全に乾かしてください。
- 送る際は、パターン部分に変形しないように緩衝材等くるんで、お送りください。

